

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和3年8月号）

令和3年8月1日

暑中お見舞い申し上げます。新型コロナとの2重苦をしのぐには忍の一字でしょうか？
時節柄、8月の共同活動はお休み（9月から再開）ですが、有志による手入れ・水遣りを欠かさないように努めます。

9月12日（日）09:00～10:30 南口電停脇花壇「みんなの庭」のお世話をいたします。
10月は17日（日）を予定しています。

〇トピックス：

—7月11日（日）：梅雨明け間近を思わせるかんかん照りのもと、南口「みんなの庭」の夏草取りに大汗を流しました。参加された5人の勇士・淑女に感謝です。

—7月15日（月）：高知市みどり課を訪問しました。南口の枯れた「カナリーヤシ」の来歴については調査中とのことでした。復活を心待ちにしております。

—「みんなの庭」には猛暑をやわらげてくれる花々が咲いています。（下の写真）



夏といえば朝顔



檜扇(ヒオウギ)はアヤメ科の和花です

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11
中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata1941@gmail.com
公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp
ホームページ：<http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」ナカタマサシ名義 普通 0709695

緑のまちづくりを考える（50）

「高知百景」— 小さな風景の魅力

高知新聞ネットに「高知百景」という写真特集があります。なにげない日常を毎週更新していますので、ご存じの方もおられるでしょう。見ると、高知の街中には、お城など大きな観光スポットとは別次元の、「小さな風景」がたくさんあることに気づかされます。「水辺」、「みどり」、「昭和」…見逃しがちな風景を、今後とも紹介し続けていただけたら嬉しいです。

ちなみに、下の写真は一見ふつうの日本家屋ですが、大川沿いにたたずむ和風カフェです。日本にここだけの、「小さな風景」ではないでしょうか。時々利用しています（幹事撮影）。



大川の対岸から撮影



建物の正面全景



お店の入口



落ち着いた店内



露地庭を望む



大川に面したベランダ

今世紀に入って、大きなテーマパーク、団体客目当ての大ホテル・旅館などが次々と廃業、高層マンションの評判にも影がさしています。大型・高層から小型・低層へ、集中・均一から分散・多様へ、時代が明らかに変わりました。「負ける」建築家隈研吾さんは、視点を下げた「ネコちゃん建築」・「ネコの都市」を追求し始めました。「道の風景」、「植木鉢文化」、「マイクロな都市計画」などという言葉も巷間で聞かれるようになっていきます。

過疎の危機にさらされている地方都市高知だからなおのこと、「ドカンと大きなものを」ではなく、小さくていいから、あちらこちらでいろんな魅力スポット（シェアハウスでも、工房でも、お店でも、アートでも何でもあり）が現れる、身の丈に合った「小さな」街づくりのワザを磨いてはいかがでしょうか？ 主役は私たち市民（移住者を含む）です。

最後に、ボランティア仲間が教えてくれた、坂本龍馬と西郷隆盛にかかわるエピソードをご披露します。時代を先取りする龍馬の真骨頂が示されています。（出所：松下幸之助『人生談義』）

西郷「あなた（龍馬）の意見は昨日と今日とでは違うじゃないか。」

龍馬「あなた（西郷）は一度こうだと考えると終始一貫、それを守りつづけようとされる。」

おわり